

美園スタジアムタウン憲章

<素案>

街全体がスタジアムのような品格と活力にあふれ、
一人ひとりがまちづくりのプレイヤーであり、サポーターとなるまち

さいたま市の副都心の一つである美園地区として、本地区の象徴たる埼玉スタジアム2002公園（以下、埼スタ）をはじめとする地域資源を生かしながら、“美園”に暮らす人・働く・学ぶ・訪れる人が、安心して快適かつ健康的なライフスタイルを実現しつつ、コミュニティの中で楽しく、豊かな時間を享受できるスタジアムタウンとなることを目指して、以下の「まちづくりの基本理念」と「まちづくり活動の指針」を定めます。

まちづくりの基本理念

1. 新価値創造都市・美園 ^{タウン} 創造的な交流を通じて、 新しい価値を生みながら成熟していくスタジアムタウン

大門宿や見沼田圃等の由緒・歴史、そしてサッカーの聖地「埼スタ」の新たな伝統を生かしながら、スポーツ・アート・サイエンス・テクノロジーのもつ創造性を発揮して、“美園”固有の文化・産業を育み、知的な交流機会と人間味あふれる魅力で人々を惹きつけるスタジアムタウンを共創します。

2. 多世代健幸都市・美園 ^{タウン} 子どもから高齢者まで、地域の中で支え合い、 健やかに過ごせるスタジアムタウン

スポーツに触れる身近な一大拠点施設「埼スタ」を核に、保健・医療・福祉・教育・産業等の重層的連携を推進するとともに、安全で快適な生活環境の向上を図り、“美園”で過ごす一人ひとりが健康維持・回復・増進に取り組みながら、世代を超えて相互に支え合う、安心と健幸のスタジアムタウンを育みます。

3. 次世代環境都市・美園 ^{タウン} 豊かな自然に親しみ、 人と環境にやさしい暮らしを未来に伝えるスタジアムタウン

見沼田圃や綾瀬川水系に抱かれた自然の回廊と共生しながら、“美園”のシンボル「埼スタ」を中心に安全・快適で質の高い環境デザインを実現し、スマートで心豊かなライフスタイルとコミュニティを体現した、低炭素・循環型地域社会のモデルとなるスタジアムタウンを次の世代へ引き継ぎます。

まちづくりの活動の指針

市民、企業、教育・研究機関、行政機関など“美園”に係る様々なステークホルダーが、オープンかつフラットな連携・協働のもと、新たな時代の都市づくりを追究し、最先端の技術や知見を取り入れながら機動的にスタジアムタウンづくりを実践していきます。

平成29年__月
美園タウンマネジメント協会
みその都市デザイン協議会